

子○蘭安溪元是歲〇文政ヤ、増補ヲナシ、マタコレヲ印施セリ、今左ニ錄シテ後致ニ備フ、一風寒ヲ避
ルコト第一也。暑月ハ病問ヲ氣ノ透ルヤウ、一冷物冷水ヲ用ルコトモアレドモ、證ニ果類橙梨ハ
魚鳥類酒并一切ノ酸味、辛味、鹹味、葷油膩炒タルモノ、麪類大麥ドンハ宜キリウ、粢砂糖極甘々ハ宜シ、蜜以上
食物禁忌五十日忌ベシ、重ハ百日モ忌也、一切不淨ノ物并惡キ臭ヲ嗅ベカラズ。○下

〔麻疹流行記〕文久二年壬戌七月町觸寫

麻疹當人飲食の毒又は手當方不宜、死亡之者不少趣相聞候付、兼而覺悟いたし置可然儀を別紙
之趣心得之爲右之通相渡候間、心得置候様可致事、

右之通御奉行所より被仰渡候間、夫々支配内不洩様可被相觸事、

七月十四日

總町代中
町中町代中

一かるきはしかたりとも、必風にあたらぬやうに、能中に平臥して、温保第一の手當とす、乞かし
あまり熱蒸は甚よろしからず、殊に此節は晝は熱し、夜は涼しければ、晝は大ていあた、まり、夜
中朝迄は衣服夜具等増すべし、其内惡寒つよければ、晝も寒氣たゆる程は暫時衣被輕むるも甚
あしく、直に内攻すると心得口べし、桂枝麻黃の入藥も、甚よろしからず、川芎白芷も斟酌すべし、
衄の出るは都而よろしければ、先暫くあはて止むる事なけれ、されども血のかたまらず、溶解の
様に見ゆれば、總身の血の熱毒にて變じ、恐るべき重病なれば、其療養各別の事なり、
一飲食は、熱き物、冷き物ども、總じて悪しく、程克加減し、冷水は決而のむべからず、
一麥湯、葛湯は至而よし、
食してあしきもの